



所信声明  
助産とリプロダクティブ・ヘルス・サービスのための  
計画とリソース  
Planning and Resources for Midwifery  
and Reproductive Health Systems

## 背景

医療資源に関する計画は技術的なプロセスであるだけでなく、政治的プロセスでもある。医療資源の数、種類と分配に関する判断は、国内の保健医療制度で守られている政治的な選択と価値観に左右されるからである。国民のニーズに合った医療サービスを妥当なコストで提供するため、保健医療の計画者・意思決定者は、要求にかなう医療資源が適切な数と種類で、適切な場所に適切なタイミングで配置されるよう考えなければならない。ここで考慮すべきは、妊娠・出産とは正常な生理学的プロセスであるが、女性と家族、地域社会に重要な意味を持つ奥の深い経験であるという点である<sup>1</sup>。

## 所信声明

ICM は、必要な能力に基づき、文化的に配慮された、エビデンスに基づく助産ケアとリプロダクティブ・ヘルスケアの提供を通じて、女性の健康改善および妊産婦と新生児の健康アウトカムの向上において、助産師は中心的な役割を果たすと考える。

また ICM は、助産師が女性およびその家族との親密な関係を通して、彼らのヘルスケアの実状を知る独自の立場にあり、女性と相談しながら質の高いサービスの提供に求められる資源を特定する能力を有すると考える。国内においては、女性のリプロダクティブ・ヘルスに関連する課題を検討する政策や戦略計画が立案される場合、特に、新生児・子ども・妊産婦の罹患率・死亡率の減少達成に関係する場合には、助産師はあらゆるレベルにおいて代表として意見を述べるべきである。臨床の場にいる助産師は、地元および国内で、妊産婦と新生児の保健医療サービスのための限られた財源分配の意思決定プロセスに参画す

<sup>1</sup> ICM. 2014. Core Document. Philosophy and Model of Midwifery Care.

べきである。

## 会員団体への推奨

会員団体に対し、以下の行動をとることを求める。

- 政府・医療関連機関・非政府組織に対して、意思決定プロセスの原則としてこの所信声明を受け入れるよう求めること。
- 女性のニーズに基づくケアと専門職が必要と考えるケアに対応するために、公平な資源配分が行われるように努力すること。
- 各団体が国内政策への参画を確保すること。
- 各団体の会員がケアにかかるコストへの認識を高めること。
- 適切な助産サービスおよびリプロダクティブ・ヘルス・サービスを擁護すること。

## 関連 ICM 文書

ICM. 2011 基本文書 ICM 助産師の定義

ICM. 2014 所信声明 助産ケアの理念とモデル

## その他の関連文書

Dreesch, N., Dolea, C., Dal Poz MR. et al. 2010. An approach to estimating human resources requirements to achieve the MDGs. *Oxford Journals, Health Policy and Planning*. 2010, volume 25

WHO/ICM/FIGO. Joint Statement. *Making pregnancy safer: the critical role of the skilled attendant*. Department of Reproductive Health and Research, WHO, Geneva, 2004.

WHA Accelerating access to primary health care, including health system strengthening; 62.1212 Strengthening Nursing and Midwifery; WHA 54.12

WHO. *Nursing and Midwifery Services: Strategic directions 2011 – 2015*. Geneva. 2011

**2005 年ブリスベン国際評議会にて採択**

2017 年トロント国際評議会にて改訂

次回の見直し予定：2023 年

2017年 公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本助産師会、一般社団法人日本助産学会 訳

ICM発行文書の原文については、ICMが著作権を有します。

日本のICM加盟団体である日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会は、ICMの許諾を得て日本語に翻訳しました。

日本語訳の著作権については、原文作成者であるICMと日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会に帰属します。

原文の転載引用については、ICMに連絡し使用許諾を得てください。

日本語訳の転載引用については、日本助産師会<http://www.midwife.or.jp/>に連絡し使用許諾を得てください。